

東洋英和女学院大学大学院

2020年度前期入学試験
春季選抜 問題

人間科学研究科人間科学専攻
修士課程
幼児教育・発達臨床学領域

小論文

修士課程 幼児教育・発達臨床学領域

I. 以下の①-⑥の語句について、200字以内で説明してください。

- ① 発達の漸成説 ② 保育内容の5領域 ③ マーラーの分離-個体化
④ 参与観察 ⑤ 発達の臨界期 ⑥ レッジョ・エミリアの保育実践

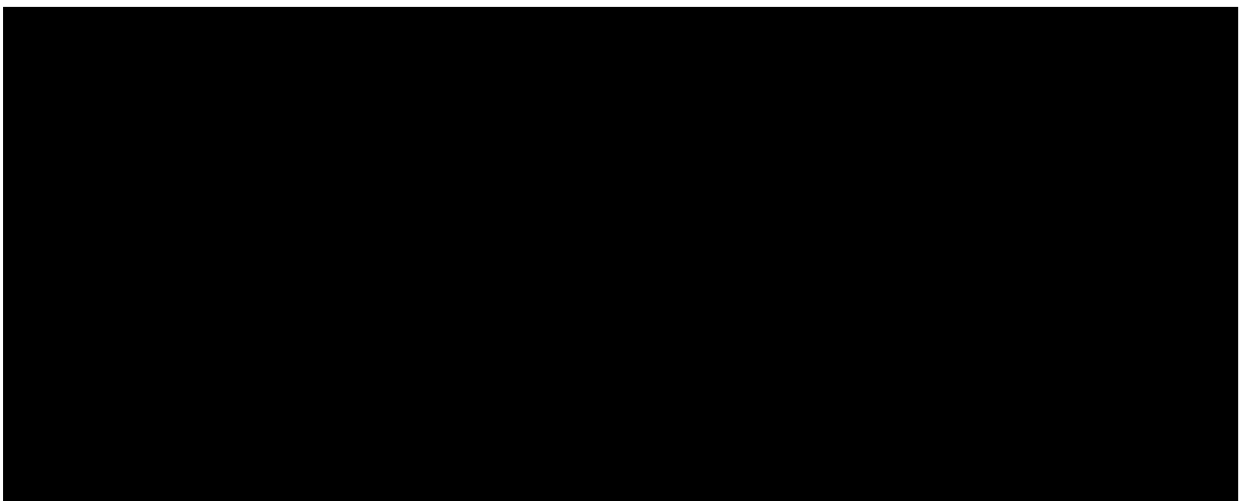
以下では、II、IIIのどちらかを選択して答えてください。


II.

問1

以下の文章を読み、下線部の「『知る』ことは『感じる』ことの半分も重要ではない」の意味について、以下の【 】内の語句を必ず用いて論じてください(語句には下線を引いてください)。

【 子ども、 親、 知識、 情緒、 感受性 】





出典：レイチェル・カーソン（上遠恵子訳）『センス・オブ・ワンダー』新潮社、1996年、pp.23-26.

問2

幼稚園などでの表現あそびや、コミュニティでのアートワークショップにおいて、障害のある子どもとない子どもと一緒に表現を創り合うことに、どのような意義や課題があるか、あなたの考えを論じてください。

Ⅲ.

問1

幼児の「ひとりであることのできる能力(capacity to be alone)」について、以下の【 】内の語句を必ず用いて説明してください(語句には下線を引いてください)。

【 ウィニコット、 表象モデル、 移行対象、 愛着 】

問2

幼児の表象能力を豊かにする「創造的・想像的遊び」について、幼児期前期(2-3歳ころ)と幼児期後期(4-6歳ころ)に分け、それぞれの時期に合った「遊び」のプランを具体的に提案してください(ひとり遊び、仲間との遊び、大人との遊びなど、形態は自由です)。